



医療法人 南労会  
紀和病院



発行者: 紀和病院 看護部教育委員会  
発行日: 平成27年5月・6月発行  
第26・27号

## 5月13日・26日 看護助手研修 ~感染予防~ 学研ナーシングサポートを用いた研修が終了しました。

20分程度のネット視聴をしたあと、看護師から当院で気になることや気をつけて欲しい内容を具体的に話していただきました。

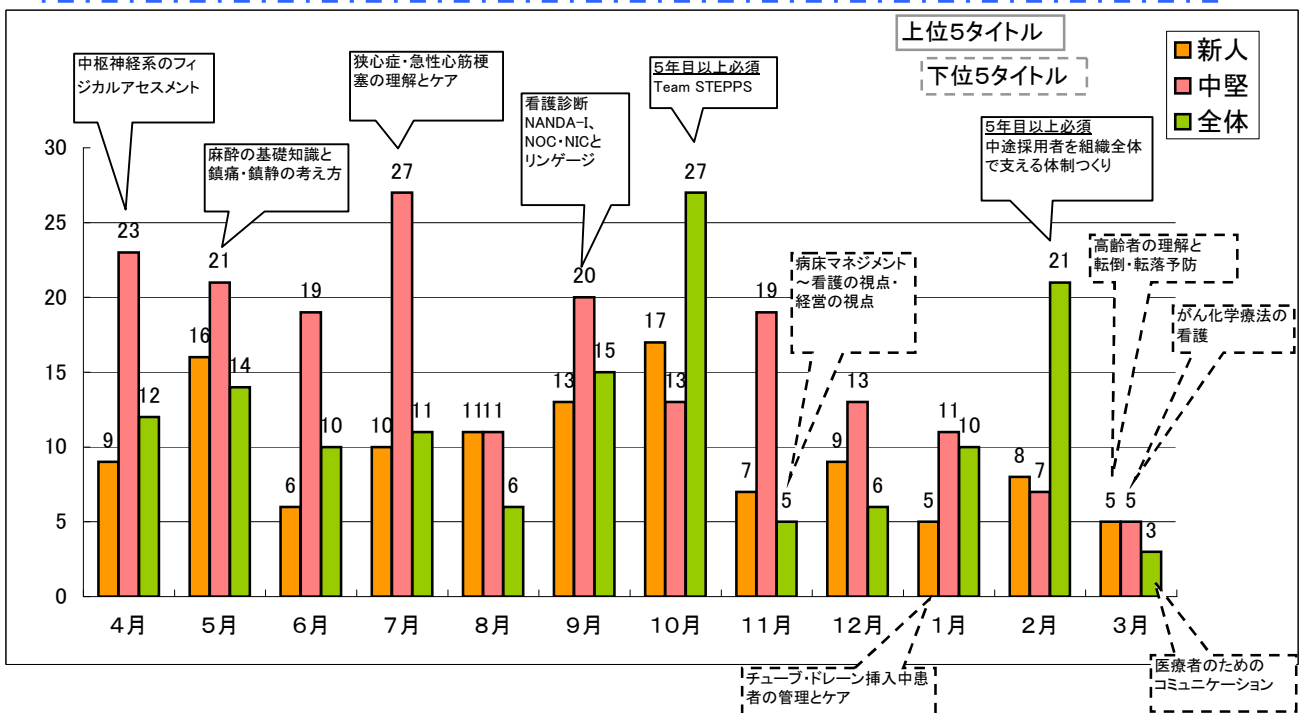
看護助手さんからの意見は、「改めて、自分が感染源にならないようにしようと思った」「コスト面から使用するのを考えて少なくしていましたが、それ以上に感染させないようにすることが重要とわかった」など意見が聞かれました。自分が媒介者にならないようにして、お互い注意し合える雰囲気を作れるようにしたいですね。

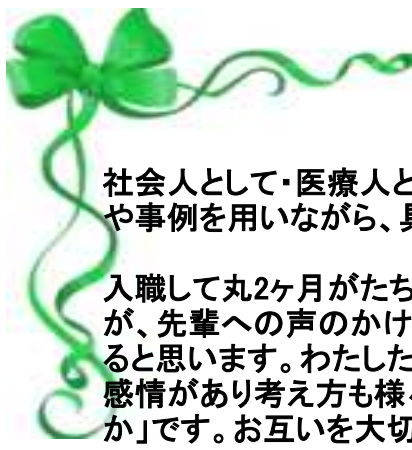


## 2014年度 学研ナーシングサポート 基本3コース年間視聴結果

学研ナーシングサポートの年間視聴について、結果が出ました。疾患に関する内容を多くのかたが視聴しています。これは、普段のケアに直結しているからだと考えています。また、必須研修についても視聴するよう心がけてくれていて、視聴学習シートを確認しても、前向きに学習してくれていることが分かり、うれしく思っています。ただ、年度初めは比較的視聴してくれていますが、年度末になると全体的に視聴者が少なくなっていることが気になりました。関心が薄れないよう、どうアピールして行くかが今後の課題です。今年度の必須項目をお知らせします。各部署で声をかけながら、学習できるようにしていきましょうね。

- 2~5年目: 6月<管理職・チーム医療>医療職のためのメンタルケア  
3月<基礎習得>看護の“心とわざ”
- 6~10年目: 6月<中堅コース>中堅看護師の力で病棟はかわる  
7月<管理職・チーム医療>スタッフの自立をサポートするティーチングとコーチング
- 10年目以上: 8月<管理職・チーム医療>看護管理者の育成~組織管理と人材育成  
9月<管理職・チーム医療>メンタルヘルスの保持増進とスタッフケアの実際





6月12日(金)

### 1年目:コミュニケーション技術について学習しました

社会人として・医療人としてのマナーをはじめ、話し方・聞き方について、チェックシートや事例を用いながら、具体的に学習していきました。

入職して丸2ヶ月がたち、病棟の雰囲気慣れ、受け持ち看護が始った頃だと思いますが、先輩への声のかけ方や、患者さんとのコミュニケーションについて考える時期でもあると思います。わたしたちは、常に“対人間”の仕事をしています。そのため、お互いの感情があり考え方も様々あります。でも、忘れてはいけないのは「相手がどう捕らえるか」です。お互いを大切にして、対等にやり取りが出来ればいいなと思います。



6月17日(水)  
看護助手のお仕事とは・・・  
の研修が終了しました



看護部の組織体制と看護助手の役割、看護助手の仕事について学習し、医療人としての倫理を考えました。業務内容を理解して仕事すること・看護師からの依頼のもと仕事をしていること・依頼のあったことは終了後報告すること・なんでもかんでも直接上司にはではなく、まずは看護師や主任に相談すること・どの職員も大切な仲間であり、チームの一員であることなど、普段あまり意識しないで行っている業務の考え方を知ることができました。看護師と看護助手はお互いに連携を取りながら、仕事をしています。お互いを尊重し、信頼関係を築けるようこれからも切磋琢磨していきましょう。

～ある雑誌より～ 「元気は“出る”ものではなく“出す”ものである」  
「元気ややる気がないときでも、まず淡々と自分の仕事をすることです。そうすれば、そのうち元気・やる気が出てくるはずだ。」とありました。これは、「元気が出たらがんばろう」「やる気が出たら動き出そう」ではなく、コツコツと日々努力していれば、必ず良い方向に向きます。ということだそうです。  
「私はこの仕事向いていない」と思わず、それを決めるのは“患者さん・ご家族”です。逆に、自分は向いていると思っていてもそうでもないこともあります。コツコツと努力している、ひたむきに向き合っているあなたを患者さんは求めています。あせらず、ゆっくりがんばりましょう！もちろん、深刻な状況のときは、がんばらず対処する必要があります。

### 7月の教育研修

- 3日(金) 3～5年目:リーダーシップ
- 22日(水) 新人:ナースングサポート研修
- 31日(金) トピックス:急変時の対応
- \* 15日(水) 新人看護職員 3ヶ月の振り返り

### <編集後記>

4月から5月にかけて、近畿厚生局の監査・療養病院の開設・機能評価再受診など、たくさんのイベントがありました。紀和病院がどのように地域に貢献しているのか、また病院としてうまく機能しているかを見直す機会になりました。スタッフの皆さんも、日々の業務の方法は良かったのか、改善点はないのかを考えなおすチャンスになったのではと思います。

今回、5月号と6月号が合併号となりました。そのため、6月の研修予定について、案内ができなかったことをお詫びいたします。(T\_T)

\* 詳細は事前に配布されるポスターをご覧ください

教育担当 辻本

